

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.193)

1. 令和2年度安全セミナーについて

豊田PCB廃棄物処理施設では、操業開始当初の漏洩事故等を踏まえ、事故の再発防止のために『豊田事業所再生計画』を平成22年度にとりまとめました。

この再生計画に位置付ける安全セミナーは、PCBの無害化処理を安全かつ確実に実施する上で大変重要な教育講習であり、今年度も継続して毎月開催いたします。



■令和2年度安全セミナー実施計画

令和2年度は継続して繰り返し教育するテーマに加え、ISO14001の審査機関による実地審査を受けることから、環境マネジメントシステムに関するセミナーを2回開催するほか、前年度の教育内容をさらに発展させた内容とすることで、マンネリ化の防止とともに、さらに理解が深まる内容としています。

安全セミナーは全従業員が参加し、関係法令遵守の徹底、過去の事故・災害・漏洩トラブルで実施した再発防止対策と、他の施設等への水平展開について学んでいます。このセミナーは年間12回開催し、講師は所内の他、外部からも招き、様々な角度からの学習をしています。

今年度第1回セミナーでは、PCBを取扱う上で留意すべき基礎知識として、性状、毒性、健康影響、環境中濃度などについての理解(再認識)を深めるとともに、作業員の暴露防止と安全衛生意識の向上をはかりました。

2. 令和元年度環境モニタリング調査結果について

豊田PCB廃棄物処理施設では、設備の稼働に伴う環境への影響を点検・確認するため、周辺環境及び排出源のモニタリング調査を毎年実施しています。

令和元年度は4月、7月、10月及び令和2年1月の合計4回の調査を実施し、管理目標値、環境基準値等全てにおいて、適合していることを確認しました。

■主な調査項目及び調査回数

- ①大気 :年4回、風下の敷地境界の地点(PCB、ダイオキシン類、ベンゼン)
- ②土壌 :年1回、敷地内の地点(PCB、ダイオキシン類)
- ③地下水:年2回、敷地内の地点(PCB、ダイオキシン類)
- ④排気 :年4回、排気口(PCB、ダイオキシン類、ベンゼン)
- ⑤ばい煙:年2回、ばい煙発生施設の排気口(窒素酸化物)
- ⑥排水 :年4回、放流口(PCB、ダイオキシン類)
- ⑦騒音・振動:年1回、敷地境界の地点

※測定結果についてはJESCO豊田PCB処理事業のHPIに掲載しています。

PCB処理事業紹介シリーズ 第36回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設の情報公開設備についてご紹介します。
豊田施設では、施設に関する資料、施設の運転に関するデータなどPCB処理事業に関する情報を積極的に公開しています。

◆施設内の情報公開設備

施設内には、PCB廃棄物処理事業に関する様々な情報を見学者の皆様に楽しくご覧いただけるよう、情報公開ルームや主要な処理設備、作業工程をガラス越しに見ることができる見学者通路などの設備を備えています。

情報公開ルーム



わかりやすい施設紹介パネルや施設模型等で豊田施設をご紹介します。



3次元コンピュータグラフィック(3DCG)で施設をあらゆる角度からご覧いただけます。

見学者通路

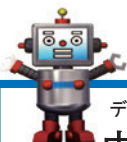


プレゼンテーションルーム



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設見学の受入を3月3日より当面の間、中止しております。(5月1日現在)

再開の予定につきましては、改めてHP及び豊田PCB廃棄物処理施設事業だよりでお知らせいたします。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>